

今回出された成績について 【自然科学系】

成績については、出席点とテストで出しているが、出席は概ね良好であった。テストについても、平均点が53点(満点70点)と非常に高く、こちらが学んでほしい内容を学んでもらえたと思っている。

・生徒たちの興味関心については、思っていたより「良い刺激」になっていた様に感じた。講義中に課した「自分で調べる作業」が、効果を出したのかもしれない。また、天体観測の実習(というよりは体験だが)は、楽しめたのではないと思う。講義内容について「難しい」と答えた学生には、期末試験が難しかったのではないと思う。理科中学教員を目指すレベルとしては相当に簡単なものだったと思うのだが、特に基礎知識・概念に関して、そのための基盤が出来ていない学生が相当数いたようだ。習ったことしか理解しようとせず、自分で問題提起して解決する発想に至っていない学生が(以前に比べて)目立つ様になってきた。

教員側が意図した学習内容や学習目標が学生に理解され、一定の成果が得られたと判断した。教員の授業スタイル(資料提示・話し方)も受け入れられており、このスタイルは問題ないと判断した。学生の授業態度も、評価同様に主体的に受けていることが見て取れている。

総合素点を出す方法について、シラバスには「講義内容と「授業外学習指示」で指定した学習を踏まえた<知識/理解><思考/判断>を問う筆記試験(持ち込み不可)を85%(レポート・小テストを課した場合、筆記試験70%、レポート・小テスト15%)とし、出席点を15%として、総点を算出する」と書いたが、平均で70点程度にするため(毎回そうしている)、多少下駄をはかせた(そして、今回はレポートも出した)。テストについては、毎回、<知識/理解>を問う問題については似たような問題を出しているし、<思考/判断>を問う問題については授業の中で示唆はしているので、結果(点数の分布)については、レポートの出来の差とテスト勉強の差が如実に出たものであると考えられる。

特にはありませんが、授業を受けるマナーに関してもう少し意識させたいと思います。

シラバス及び初回のガイダンス時に示した評価方法にしたがい、成績を出している。いずれの授業に関しても、教員側が意図した基準に概ね到達している状況がうかがえた。

本学学生に対して、少し高度なことを求めているので、ほぼ想定通りの反応であると同時に、学年の違いも反映されている。

レポートの提出課題などにおいて、学生は積極的、意欲的に調べていたり、主体的な見解を述べている場合があり、また特に、インターネットによる検索以外の方法でも、調べ学習をして、まとめることに取り組んでいる場合があり、良い成績につながっている。レポートなどにおける自由意見については、単なる個人の感想と、自分の考えを、そのような調べ学習をしたうえで客観性を持って見解を述べることの違いについて、より意識して、普段より自己評価してもらえるよう題材や提示のしかたを考えたい。

専門用語の把握は進められていても、学生自身がきちんと意味をとったり、背景となる状況を合わせて把握したり結びつけたりすることができるまで、学習を深められてはいないことが窺える。宿題も直前で対応しており、きちんと意味をとったり、解釈をしたり、考えを作ったりすることを苦手になっているような印象である。